

育成を目指す資質・能力

グラフの特徴を理解し、課題の解決に向けた目的に合うグラフを自分で判断できる。

ICT活用のポイント

- ・クラスメイトの考え方を共有し、それらを比較したり、分類したりする活動を通して学びの広がりや深まりを図る。
- ・デジタルコンテンツを活用することで瞬時にグラフを作りかえることができ、授業のねらいに沿った学習活動の時間を十分に確保する。

事例の概要

【事例における I C T 活用の場面①】

- 前時に児童が作成したスライドを電子黒板で提示して振り返りを行う。
- 課題を提示して児童の声を生かしながら本時のめあてを設定する。

課題：農業で働く人の数はどのように変化しているか調べましょう。

【事例における I C T 活用の場面②】

- デジタルコンテンツを活用して資料を複数のグラフへ作りかえながら課題解決に向けた目的に合うグラフを個別で選ぶ。
- 隣の席の児童と考えを交流したり、他のグラフではどうかと再検討したりする。

【事例における I C T 活用の場面③】

- クラスメイトの考え方を共有した後、授業のねらいに沿ってそれらを比較したり、分類したりする活動を通して、グラフによって表せる内容が異なることを確認する。また、目的によってグラフの選び方が変わることを児童の考えを生かしてまとめる。

前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。

めあて：高齢化しているかどうかを調べるためにはどのグラフがよいだろうか？

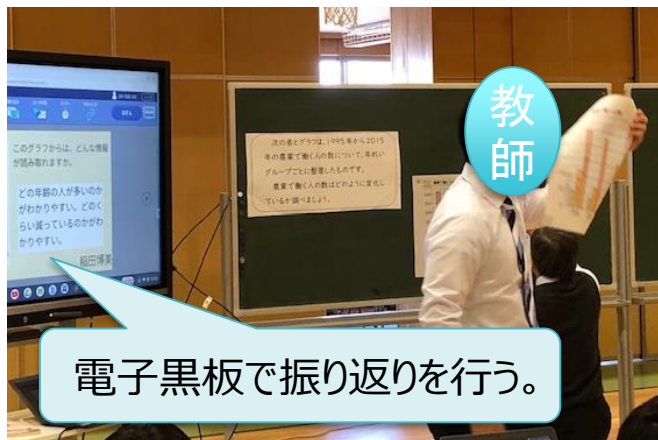
デジタルコンテンツを活用してグラフを作りかえながら個別に課題を追究する。

考え方を比較したり、分類したりしながら集団解決を図ってまとめる。

本時の学習を振り返る。

【算数・小5・「帯グラフと円グラフ」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



電子黒板で振り返りを行う。

○児童が前時に作成したスライドを電子黒板で提示して学習の振り返りをスムーズに行う。これにより、時間短縮や授業準備の業務軽減を図ることができる。準備が大変そうに見えるが、授業者からは「今までよりも負担が減った」という意見が聞かれた。

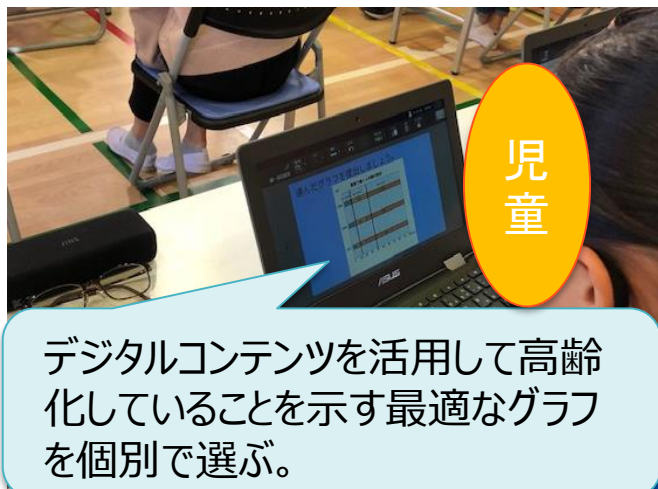
【事例におけるICT活用の場面③】

クラスメイトの考え方を共有し、比較したり、分類したりする。



○より多くの考え方に触れることで自分の考えを見直して深めたり、新しい考えを見いだしたりできる。また、教師はきめ細やかに児童の考えを把握できるようになり、必要な支援をしたり、意図的に考えを取り上げたりしやすくなった。

【事例におけるICT活用の場面②】



デジタルコンテンツを活用して高齢化していることを示す最適なグラフを個別で選ぶ。



児童

○デジタルコンテンツを活用することで瞬時にグラフを作りかえることができる。これによって、授業のねらいに沿った学習活動の時間を十分に確保できる。児童がじっくり思考する姿が印象に残った。

選んだグラフを見比べてお互いの考えを交流したり、他のグラフではどうかと検討したりする。

【使用したソフト（機能）】

- ・学習支援ソフト（データ提出・受信、一覧表示）
- ・教科書のデジタルコンテンツ（グラフ作成）